



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月4日

上場会社名 オイレス工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6282 URL <https://www.oiles.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 昌弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 企画管理本部長 (氏名) 宮崎 聡

TEL 0466-44-4901

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	38,188	15.0	1,992	48.8	2,396	42.7	1,702	40.7
2020年3月期第3四半期	44,908	1.1	3,888	0.7	4,185	2.3	2,873	3.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,603百万円 (36.7%) 2020年3月期第3四半期 2,533百万円 (42.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	54.38	
2020年3月期第3四半期	91.78	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	78,134	60,902	76.8	1,914.19
2020年3月期	79,887	60,642	74.5	1,901.14

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 59,982百万円 2020年3月期 59,520百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		25.00		25.00	50.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 配当予想の修正につきましては、2021年2月4日公表の「通期業績予想及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,700	12.4	2,400	49.5	2,900	42.8	2,000	41.7	63.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、2021年2月4日公表の「通期業績予想及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	34,300,505 株	2020年3月期	34,300,505 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	2,964,912 株	2020年3月期	2,992,709 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	31,311,095 株	2020年3月期3Q	31,307,999 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 受注及び販売の状況	10
(2) 地域ごとの売上高	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が継続する中、経済活動は徐々に回復しつつあるものの冬に入ると感染拡大の懸念が再び強くなり、依然として先行き不透明な状況が続いております。製造業においては、中国向けで持ち直しが見られましたが、製造業全体としての改善ペースは鈍く、コロナショックによる景気減退は引き続き当企業グループにも影響を与えております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,188百万円(前年同期比15.0%減)、営業利益は1,992百万円(前年同期比48.8%減)、経常利益は2,396百万円(前年同期比42.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,702百万円(前年同期比40.7%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①軸受機器

コロナショックによる需要減退の影響を受けた軸受機器セグメントは、上期から下期に入るにつれて徐々に受注、売上ともに回復し、また、コスト構造の見直しを行うなど利益改善策を進めてまいりました。

この結果、軸受機器の売上高は24,831百万円(前年同期比21.9%減)、セグメント利益は267百万円(前年同期比89.6%減)となり、当四半期において黒字転換をいたしました。

#### ②構造機器

橋梁向け製品、建築向け製品ともにコロナショックの影響をほぼ受けず順調に推移しました。

この結果、構造機器の売上高は8,040百万円(前年同期比1.3%増)、セグメント利益は1,482百万円(前年同期比21.8%増)となりました。

#### ③建築機器

ウィンドウ オペレーターは感染症対策による換気需要の高まりから受注が堅調に推移し、売上、利益ともに前年同期を上回りました。住宅向け製品においては、国内消費の落ち込みが徐々に回復し前年並の売上となり、利益確保をすることができました。

この結果、建築機器の売上高は4,417百万円(前年同期比5.4%増)、セグメント利益は241百万円(前年同期比184.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ、総資産は1,753百万円減少、負債は2,013百万円減少、純資産は259百万円増加した結果、自己資本比率は前連結会計年度より2.3ポイント増加して76.8%となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産では現金及び預金の1,248百万円の減少、受取手形及び売掛金の495百万円の減少、有価証券の999百万円の減少、仕掛品の244百万円の増加、固定資産では有形固定資産の316百万円の増加、投資有価証券の548百万円の増加であります。

負債の増減の主なものは、流動負債では支払手形及び買掛金の509百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金の545百万円の増加、未払法人税等の658百万円の減少、賞与引当金の607百万円の減少であります。固定負債では長期借入金の157百万円の減少、退職給付に係る負債の101百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①連結業績予想

2021年3月期の連結業績予想につきましては、コロナショックの影響を見積もり算定しておりますが、当第3四半期は前回公表(2020年11月4日)時点の想定よりも早いペースで回復が進んだことに加え全社的なコスト構造の見直し策等の進捗もあり、業績予想を上方修正することといたしました。この結果、2021年3月期の当企業グループ全体の売上高は52,700百万円、営業利益は2,400百万円、経常利益は2,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,000百万円を予想しております。

なお、足下も新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発せられる等、引き続き当企業グループを取り巻く環境は通常以上に不透明な状況が続くことが予想されます。今後の感染症拡大や収束の状況等により業績予想に大きな変動が見込まれる場合には、業績予想を修正し、速やかに公表してまいります。また、本日開示しております「通期業績予想及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」も合わせてご参照ください。

②配当予想

2021年3月期の配当予想につきましては、この度の業績予想の修正から、当期の期末配当金予想を前回の15円から、5円増額し、一株当たり20円に修正いたします。これにより年間配当は35円となる見込みであります。また、本日開示しております「通期業績予想及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」も合わせてご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,679	20,430
受取手形及び売掛金	18,207	17,712
有価証券	999	—
商品及び製品	3,800	3,920
仕掛品	3,283	3,527
原材料及び貯蔵品	2,723	2,628
その他	838	751
貸倒引当金	△45	△46
流動資産合計	51,486	48,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,909	9,403
機械及び装置(純額)	5,344	5,157
土地	2,915	2,900
その他(純額)	2,649	3,674
有形固定資産合計	20,819	21,135
無形固定資産		
	388	357
投資その他の資産		
投資有価証券	5,095	5,644
退職給付に係る資産	126	116
その他	1,986	1,971
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	7,192	7,717
固定資産合計	28,400	29,209
資産合計	79,887	78,134

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,839	5,329
1年内返済予定の長期借入金	545	1,090
未払法人税等	858	200
賞与引当金	1,074	466
役員賞与引当金	109	80
株主優待引当金	130	9
その他	3,520	3,137
流動負債合計	12,077	10,313
固定負債		
長期借入金	5,455	5,297
役員退職慰労引当金	59	60
役員株式給付引当金	76	80
退職給付に係る負債	778	677
その他	797	802
固定負債合計	7,167	6,918
負債合計	19,245	17,231
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,585	8,585
資本剰余金	9,728	9,610
利益剰余金	45,758	46,132
自己株式	△5,411	△5,180
株主資本合計	58,659	59,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	987	1,524
為替換算調整勘定	248	△366
退職給付に係る調整累計額	△374	△323
その他の包括利益累計額合計	860	834
非支配株主持分	1,121	919
純資産合計	60,642	60,902
負債純資産合計	79,887	78,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	44,908	38,188
売上原価	29,625	25,853
売上総利益	15,283	12,334
販売費及び一般管理費	11,394	10,342
営業利益	3,888	1,992
営業外収益		
受取利息	74	59
受取配当金	123	115
為替差益	16	—
受取保険金	90	14
助成金収入	—	212
その他	142	95
営業外収益合計	448	497
営業外費用		
支払利息	17	16
為替差損	—	10
デリバティブ評価損	108	45
その他	27	21
営業外費用合計	152	93
経常利益	4,185	2,396
特別利益		
投資有価証券売却益	9	69
特別利益合計	9	69
特別損失		
固定資産処分損	36	55
投資有価証券評価損	57	63
特別損失合計	93	119
税金等調整前四半期純利益	4,101	2,346
法人税等	1,142	631
四半期純利益	2,959	1,715
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,873	1,702



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,959	1,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	311	536
為替換算調整勘定	△764	△699
退職給付に係る調整額	26	50
その他の包括利益合計	△426	△112
四半期包括利益	2,533	1,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,422	1,676
非支配株主に係る四半期包括利益	110	△72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(取締役及び執行役員に対する株式給付信託 (BBT) のについて)

当社は、2018年6月28日開催の第67回定時株主総会決議に基づき、当社の取締役(社外取締役を除きます。)及び執行役員(以下、「取締役等」といいます。)に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、「本信託」といいます。)を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、当社取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として当社取締役等の退任時となります。

連結貸借対照表に計上した株式会社日本カストディ銀行が保有する当社株式は、前連結会計年度末271百万円(117千株)、当第3四半期連結会計期間末268百万円(115千株)であります。なお、資産管理サービス信託銀行株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社及びJTCホールディングス株式会社は、2020年7月27日付で合併し、株式会社日本カストディ銀行となりました。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引の再導入)

当社は、2020年11月4日開催の取締役会決議に基づき、従業員の福利厚生増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、「株式給付信託(従業員持株会処分型)」(以下、「本制度」といいます。)を再導入しております。

本制度は、「オイレス従業員持株会」及び「オイレスグループ従業員持株会」(以下、「持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象に、当社株式の株価上昇メリットを還元するインセンティブ・プランです。本制度の導入にあたり、当社は、当社を委託者、みずほ信託銀行株式会社を受託者とする「株式給付信託(従業員持株会処分型)契約書」(以下、「本信託契約」といいます。)を締結します(本信託契約に基づいて設定される信託を「本信託」といいます。)。また、みずほ信託銀行株式会社は株式会社日本カストディ銀行との間で、株式会社日本カストディ銀行を再信託受託者として有価証券等の信託財産の管理を再信託する契約を締結します。株式会社日本カストディ銀行は、信託E口において、今後5年間にわたり持株会が購入することが見込まれる数に相当する当社株式を予め一括して取得し、以後、持株会の株式購入に際して当社株式を売却していきます。信託E口による持株会への当社株式の売却を通じて、信託終了時までには、本信託の信託財産内に株式売却益相当額が累積した場合には、かかる金銭を残余財産として、受益者適格要件を充足する持株会加入者(従業員)に分配します。他方、当社は、信託銀行が当社株式を取得するための借入に際し保証をするため、当社株価の下落等により、信託終了時において、株式売却損相当額の借入残債がある場合には、保証契約に基づき当社が当該残債を弁済することとなります。

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は、892百万円(600千株)であります。総額法の適用により計上された当第3四半期連結会計期間末における借入金の帳簿価額は、932百万円であります。

(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当企業グループは、新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期等に関して不確実性が高い事象であると考えております。当第3四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表作成にあたって、会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の設定としては、新型コロナウイルス感染症の影響が2021年3月期の一定期間継続し、その後緩やかに回復するものとして検討しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,791	7,935	4,188	43,916	992	44,908	-	44,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	-	3	6	28	35	△35	-
計	31,794	7,935	4,192	43,923	1,020	44,944	△35	44,908
セグメント利益又は損 失(△)	2,565	1,218	84	3,868	16	3,884	4	3,888

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、伝導機器事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,829	8,040	4,416	37,286	901	38,188	-	38,188
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	-	0	2	25	28	△28	-
計	24,831	8,040	4,417	37,289	927	38,216	△28	38,188
セグメント利益又は損 失(△)	267	1,482	241	1,991	△4	1,986	5	1,992

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、伝導機器事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	2,559	21.3	24,905	65.7	24,829	64.9	2,635	22.6
構造機器	8,304	69.1	7,399	19.6	8,040	21.1	7,663	65.8
建築機器	882	7.4	4,562	12.1	4,416	11.6	1,028	8.8
報告セグメント計	11,746	97.8	36,867	97.4	37,286	97.6	11,327	97.2
その他	258	2.2	974	2.6	901	2.4	331	2.8
合計	12,005	100.0	37,842	100.0	38,188	100.0	11,659	100.0

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	2,978	23.6	31,674	69.7	31,791	70.8	2,861	21.8
構造機器	8,392	66.6	8,299	18.3	7,935	17.7	8,756	66.9
建築機器	895	7.1	4,456	9.8	4,188	9.3	1,162	8.9
報告セグメント計	12,266	97.3	44,430	97.8	43,916	97.8	12,780	97.6
その他	335	2.7	977	2.2	992	2.2	320	2.4
合計	12,601	100.0	45,407	100.0	44,908	100.0	13,100	100.0

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	2,978	23.6	41,119	69.0	41,538	69.0	2,559	21.3
構造機器	8,392	66.6	11,264	18.9	11,352	18.9	8,304	69.1
建築機器	895	7.1	5,887	9.9	5,899	9.8	882	7.4
報告セグメント計	12,266	97.3	58,271	97.8	58,790	97.7	11,746	97.8
その他	335	2.7	1,297	2.2	1,374	2.3	258	2.2
合計	12,601	100.0	59,568	100.0	60,165	100.0	12,005	100.0

(2) 地域ごとの売上高

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
29,219	3,205	2,261	9,106	1,116	44,908

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. アジアのうち、中国向け売上高は5,016百万円です。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
26,101	2,257	1,997	6,948	883	38,188

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. アジアのうち、中国向け売上高は4,383百万円です。